

日本建築学会農村計画委員会
農村地域づくり小委員会石垣島研究会

「石垣島での観光、景観、自然、集落が調和する融合型地域づくりのあり方」

1. 日 時 2018年11月17日（土）
 15:15～18:45（15:00開場）
 石垣市健康福祉センター 1F 会議室
 沖縄県石垣市登野城 1357-1
2. 参加費 : 無料
3. 申込締切 : 2018年11月3日（土）
 （資料準備のため申込制としていますが、当日参加も可能です）
4. 申込・問合せ先: 上村真仁（筑紫女学園大学） m-kamimura@chikushi-u.ac.jp

5. 主旨

沖縄県石垣島は離島にあって観光入域客の急激な増加から交流人口の拡大、移住定住人口の増加が著しい地域である。こうした状況は2013年の新石垣空港の開港以降に顕著になっており、伝統的な地域コミュニティと移住者の融和や定住・交流人口の受け入れのための住宅・観光施設の開発と景観保全・自然環境保全の調和が課題となり、それぞれの集落における地域づくりの中で、それらの課題の回避、調整のための試行錯誤が繰り返されている。

本研究会では、観光、景観、自然、そして集落での暮らしが調和する地域づくりに向けて、在来コミュニティや新規住民、郷友者など多様な人々の島への思いとその活動に着目し、景観や環境保全と観光開発との調整、一次産業の活性化と観光業との連携などこれからの持続可能な地域づくりの担い手について議論したい。

6. プログラム案：司会 上村真仁／筑紫女学園大学現代社会学部 准教授

- (1) 開会
- (2) 事例紹介（20分）

上村真仁／筑紫女学園大学現代社会学部 准教授

- (3) 話題提供（発表時間 15分）

- ①景観保全 川平集落の景観保全の歴史と現在の取り組み
 橋爪千花 「川平の景観を守る会」会長
- ②自然保全 白保集落のサンゴ礁保全に向けた事業者の取り組み
 新里昌央 「白保魚湧く海保全協議会」会長

- ③農村活性化 伊野田集落における直売市「おっかあ市」の取り組み
宮城奈美子「おっかあ市」
- ④担い手育成 島で生まれ育った若者たちの思いを伝える取り組み
前盛よもぎ 八重山ヒト大学学長
- (4) コメント (約10分)
石垣市観音堂地区自治会 比屋根健会長
- (5) ディスカッション (1時間半)
話題提供者／コメンテーター／小委員会メンバー／
- (6) まとめ (10分)
山崎寿一／農村計画委員長、神戸大学大学院工学研究科教授
- (7) 2日目 現地視察
9:00 竹富島、石垣島内見学会 (観音堂地区、白保、川平など)
17:30 石垣空港 解散

以上